

Vories
cure&care



ヴォーリス
だより

発行 毎月 1日
発行者
ヴォーリス記念病院
三ツ浪 健一
近江八幡市北之庄町492
TEL (0748) 32-5211
印刷
(有) 東呉竹堂 (ひがし印刷)

病院ホームページアドレス
<http://www.vories.or.jp/>

2017年(平成29年) 5月1日 第119号

時代のニーズに合わせた 「看護の質向上」を目指して

看護部長 岡田 幸子



ヴォーリス里に山桜と新緑の季節が訪れました。

看護部では13名の新しい仲間を迎え、1か月が過ぎようとしています。1週間のオリエンテーションを終え、配属された現場での成長を見守っています。

我が国は、人口減少社会・超高齢化社会を迎え、病床機能の分化と連携、在宅医療・介護の推進など地域包括ケアシステムの推進が急務となっています。その中で効率的な医療提供体制の構築と安全で質の高い看護・介護の提供が求められています。それに伴い、保健・医療・福祉の現場で看護実践する私たちに求められる役割も拡大しています。

日本看護協会は、変化する医療体制への対応として、多様なキャリアを支援するために、実践の場や看護職の背景にかかわらず、すべての看護職に共通する看護実践能力の標準的な指標となる「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」（一人ひとりの能力を伸ばすための指標）を作成し、活用を推進しています。

当院は、急性期、回復期、慢性期、終末期の機能と併設して在宅部門を持ち在宅療養支援病院として、医療とケアと生活を一体化した地域完結型を推進することを支援する役割があります。看護部では、病院という組織の中での看護提供にとどまらない、広い視野を持つ看護師の育成を目指し「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」を活用し教育ラダーの見直しに着手しています。昨年度は「新人看護師教育アドバイス事業」に参加し、新人教育の整備を行いました。当院の特徴を盛り込み、「地域看護」への知識・技術を熟成できるようにしました。地域の方々の暮らしと医療を支えるために、病気の発症からすべての健康段階においてシームレスな看護が提供できるように学び続けることが、看護の専門職種としての責務であると考えています。そして、私たち看護職自身が、人々の生活や生命の質に寄与する看護とは何なのかという看護を語ることに、社会における役割を認識する機会を持ち、看護の質を保証していく使命があると痛感しています。そのために、「看護を可視化する」システムを構築し、日々提供する看護の質を評価できるよう進めていきたいと考えています。

5月12日今年も看護の日を迎えます。

フロレンス・ナイチンゲールは看護について「人間が人間らしく生きていける社会の創造と、国民の病からの解放と健康の増進、清潔で健康的な住まいの実現という目標に向かって立ち続けた」と著書にあります。時代背景は変動してもこの看護の目指す姿に変わりはないのです。この教えを胸に刻み地域住民のニーズに応えるべく、学びの姿勢を持ち未来に向かって進んでいきたいと思えます。

これからもご支援のほどよろしくお願いいたします。

**敷地内全面禁煙です。
皆様のご理解とご協力をお願いいたします。**

今
月
の
聖
句

「あなたの重荷を主に委ねよ」

旧約聖書 詩編 55篇23節

チャプレン 安部 勉



神さまに「祈る」。

牧師である私は病院で患者さんのため、また職員のために「祈る」ことを大事にしています。特別な祈りではありません。健康や安全、無事を覚えて祈ります。また苦しみや痛みへの慰めや癒し、神さまのもとに旅立つ方が祝福のうちに迎えられることを心から祈っています。

皆さんが願うこと、その思いと変わらないかもしれません。

「祈り」に作法はありません。手紙のように時候の挨拶が必要ではなく、感謝と願いを込めて祈ります。聖書にはイエス様に「どのように祈ったらよいですか」と尋ねる場面が登場します。イエス様は具体的に祈りの基本を示しました。その祈りが「主の祈り」と言われる「祈り」です。

イエス様も「祈り」の人でした。時に弟子と離れ、ただ一人祈ることに時間を費やしたこともありました。

そのイエス様も知っていた聖書の「祈り」、それは歌集でもある旧約聖書の詩編です。「今月の聖句」で取り上げた詩編55篇という詩は誰が何時どのようなことを歌ったか詳細はわかりません。この詩は「敵」が自分に襲いかかり悩みと不安の中にあるとの告白から始まります。敵は「災いを憤りをもって襲ってくる」と。彼の「祈り」は「彼らを絶やしてください」との祈りです。彼らは社会を不安や恐怖に陥れる、とも訴えます。

彼の訴え、そして苦しみは単に「敵」からの襲撃だけではありませんでした。その「敵」は「友」でした。「楽しく、親しく」し、神殿に共に参拝した仲だったのです。

親しい者、友情を育んだ者との関係が破綻すること、心痛む出来事だったのでしょう。彼の祈りは「敵」となった昔の友への滅びさえ願うのです。親しかったからのこと、その言葉に憎しみと怒りが散りばめられています。

「祈り」の言葉、その思いに遠慮ありません。憎しみや怒り、滅びが敵に下るようにと祈るのです。

そして彼は神に告白します。

「あなたの重荷を主に委ねよ 主はあなたを支えてくださる」と。神さまは「支えて下さる」との信仰。だからすべてを委ねます、と。

彼は憎しみや怒りを言葉にし、滅びを願います。

しかし、手を下そうとしません。神は「滅ぼす」ことを彼に許可する方ではありません。ただ神さまの思い次第なのだ、と。

ただ神の御心にすべてを委ねるのです。

怒りや憎しみを思うことを抑えることを神さまは求めません。ただ神の御心に委ねることを求めます。神の前に私たちは裁く権利を持ち合わせる者ではないのです。



ヘルシークッキング 5月



ちまき

ちまき・柏餅

エネルギー 64kcal タンパク質 1.1g 脂質0.1g (1個分)

(材料 ー 10個分ー)

- ・餅米 180g
- ・きな粉、砂糖、塩、醤油 お好みに適量
- ・笹の葉 20枚
- ・イグサ 10本



(作り方)

- ① 笹の葉とイグサを水に漬ける。
- ② 餅米を洗い、水気を切る。
- ③ 笹の葉を三角に折り、もち米を詰め、もう1枚笹の葉をかぶせて三角に包む。イグサで縛る。もち米は水分を含むと膨らむので軽めに縛る。(イグサの縛り方は解けなければどんな縛り方でもOKです)
- ④ ③を一晩水に漬ける。
- ⑤ 鍋に水と③を入れ、中火で50~60分程茹でる。
- ⑥ 茹で上がったたら湯から取り出し水気を切る。
- ⑦ 笹の葉を取り、きな粉や醤油などお好みの味でいただく。



5月と言えば「端午の節句」。盛夏入りを前にしたこの時期には「柏餅」や「ちまき」を食べて夏中の無病息災を願いますね。柏餅の原型は「(ぶと)」という古代菓子で、日本最古のお菓子の一種と言われ、ちまきは中国から伝来したもので年代は明らかとはなってはいませんが、神功皇后が三韓征伐の時に持ち帰ったという説や、仁徳天皇の時に宮中に献じられたのがきっかけであるという説など様々な説があります。

共に歴史ある食べ物と言えますが、それぞれ防腐作用に

優れる柏の葉と笹の葉を使用しているため、保存食としても優れた一面を持っています。また、餅米はたんぱく質やでんぷんを多く含み、消化器系を丈夫にして体力を強化する働きに優れています。また、体を温める作用も高いので、冷え性改善も期待できます。

柏餅もちまきも自宅で手作りして食べるという風量は、ほとんど見られなくなりましたが、今回はちまきの作り方をご紹介しますので、手作りに挑戦してみてくださいは如何でしょうか？

つら

ヴォーリス記念病院 創立100周年に向けて

当院は今から99年前の5月、「近江療養院」という結核療養所として開設しました。来年で100周年を迎えます。近江八幡の地で100年という月日、地域の皆さんに基督教の理念に基づき医療や介護、福祉の働きを担って来ました。来年の100周年に向けてこのコーナーでは病院に関連するトピックをご紹介します。

第2回

公益財団法人近江兄弟社本部事務局長 藪 秀 実

我が国では、旧近江療養院が開院した1918（大正7）年の翌年に結核死亡率が10万人当たり257.1人とピークを迎えている。（東京都健康安全研修センター）

治療薬のない当時（治療薬は1944年のストレプトマイシンまで待たねばならなかった）、盛んだったのは「予防啓蒙活動」である。旧近江療養院でも予防啓蒙活動に力を入れているが、結核予防デーのタスキをかけ、高張り提灯、大旗を持ち、なんとオリジナルに作詞した結核予防宣伝歌を歌いながら八幡の町をねり歩き、路傍講演を行ったことが「湖畔の声」1928（昭和3）年6月号に紹介されている。歌詞も掲載されている。（あゝ玉杯の節で）

1. よろずの病のそのうちで、悲惨極まる結核病
僅かな熱と咳をだし、風邪の心地と油断させ
生命（いのち）をとるはこの病気、特に油断を
怠るな
2. 聞けや予防の鐘の声、良き習慣を養いて
規則正しく清潔に、暴飲暴食慎めよ
油断大敵つかの間も、結核予防に努力せよ
3. (略)
4. 食欲進まず、体重（おもさ）減り、怪しき微熱
あるときは
早く診察受けよかし、初期のうちには全治する
望みうたがいなき故に、衛生予防に勉めよや



この予防宣伝歌を300枚、自然療養社寄贈の予防パンフレットを200枚配布したとのことであるが、地域に対する積極的な貢献の足跡が見て取れる。

ちなみに「湖畔の声」同号には、入院中に受洗した原田信夫氏（後の近江療養院付牧師）が同志社神学部に入學したことも記載されている。

健康について

1病棟 柏木 結衣

私は健康について心がけている事が二つあります。

一つ目はジムに行って体を動かすことです。最初はダイエットの為に始めたジムでしたが、体を動かす様になってからは代謝が良くなり、風邪を引きにくい体質になったと思います。

ダイエットが目的で行っていたのが、気がつけば健康を意識して行くようになりました。

二つ目は早寝早起きです。夜をしっかりと寝

ることで次の日の目覚めも良く、朝も時間に余裕ができるようになりました。

慣れてしまうと健康管理がおろそかになってしまいがちですが、少しの意識で健康に繋がると思いました。



報告1

避難・救出・消火器取扱訓練

経営企画室 永福 喜美江

3月14日消防訓練を行いました。今回の訓練は、本館3階2病棟、患者食堂付近からの出火というので、2病棟病室の（模擬）患者さんの避難・誘導を想定して行いました。2病棟職員が火災を発見し、火災報知器のボタンを押すところから訓練開始。〈庶務班〉の医事課職員が非常ベルが鳴ったこと、状況を確認中であることを放送。発報場所や状況を確認し、消防署へ非常通報装置発信し、防火管理者に連絡。報告を受



けた防火管理者は、火災発生と自衛消防隊出動の放送をし、火災報知器により数回全館にベルを鳴らす。消火係、給水係、防護係、機材係の〈防災班〉と、患者避難係、治療係の〈救護班〉は、防火管理者の放送を聞き出動。各課、各班長、各係が、本館1階救急入口前付近に設置の自衛消防隊本部に報告し避難完了です。その後、水消火器を用いた消火の訓練を行いました。

病院には高齢者や動けない患者さんが大勢いらっしゃいます。まずは絶対に火災を起こさないことが一番大事ですが、万が一発生した時、患者さんを安全に誘導する為にも、日頃から防災意識を高め、非常口や消火器の位置を確認し、防災マニュアルなど知識を持つておくことは、病院スタッフとしての職務の一つであると思います。火災に関わらず、昨今の未曾有の自然災害をニュースで目にするたび、私達一人一人が状況を素早く見極めながら考えて行動することの重要さを感じます。みんなで様々な想定訓練を積み重ねていくことの大切さを改めて実感しました。

報告2

接客研修を受けての学び

訪問看護ステーションヴォーリズ 宮本 早苗

去る3月21日、22日に産業カウンセラーの津島裕子先生を講師に迎え、接客研修が行われました。今回は基本に戻り自身、職場の現状を見直すことがテーマでした。

津島先生の講義では、あいさつや表情、身だしなみ、言葉遣いなどの、いわゆるHow toだけでなく、そこに心を添えられていることが大切なのだとして学びました。ホスピタリティの精神で人と接しケアを提供することが接客において根本になるのだと感じました。「ホスピタリティ」とは、思いやりやおもてなしの意味だそうです。見返りを求めるのではなく、目の前の相手が私たちのサービス、ケアに満足してもらえることが第一です。

ホスピタリティに繋がるサービスには3段階あり、第1段階のサービスは基本のマナーです。相手を不快にさせないために必要となる最低限のマナーです。第2段階のサービスは顧客

満足度といい、相手の期待値以上のサービス。第3段階のサービスは感動品質といい、相手を感動させるような相手思いやったサービスとなります。

相手を思いやる気持ちやおもてなしする心があいさつや身だしなみといった形で表現されるのです。心のこもった対応やケアで相手の方が満足して下さると、自分の満足にも繋がります。先生の言葉に置き換えると、自分の満足すなわち従業員満足度です。これが向上することでチーム力は強まります。満足度の高い職場では、患者様、利用者様へのケアが向上していきます。自分1人や誰かだけができていければいいというものではなく、職場全体で意識していくことが大切です。今回の研修を受け、日頃からケアを振り返り形や表面だけを取り繕うのではなく、思いやりの心をもってケアを提供し続けていきたいと感じました。

報告3

4月1日 病院 入社式

診療技術部長 古武 まゆみ

今年はいつまでも寒く、桜の花がまだ固い蕾みのなか、ヴォーリズ記念病院の入社式が4月1日土曜日にヴォーリズ記念病院礼拝堂にて行われました。

今年の新入社員は、看護部12名、診療技術部6名、在宅部7名の計25名。

昨年度の中途入社者は、看護部11名、診療技術部1名、事務部1名、在宅部11名である24名。

在宅部は、この4月に竣工する看護小規模多機能型居宅介護「友愛の家 ヴォーリズ」のため職員の採用がありました。

入社式では、礼拝が行われ、安部チャプレンによるメッセージでは、「愛によって働く一大家族が近江兄弟社である」と創立者ヴォーリズの言葉を引用され、自分を大切に思うと同時に隣人を大切にするとする愛の精神を伝えられました。三ツ浪理事長から新入社員歓迎メッセージとして「みなさんは、来るべきこの病院にこられた」として、ヴォーリズ記念病院ではその人らしい医療を大事にしていると話されました。

常勤となられた野浦医師の挨拶に続き、新入職員を代表して看護部、辻祐介さんが力強く、希望に満ちた挨拶をなさいました。

新入社の皆さまは、緊張が続く入社式・オリエンテーションだったと思います。皆さまを歓迎するように桜もほころび始め、里の鶯も鳴きはじめました。心と身体の健康に気を付けて、知識と技術の取得に努めていただきたいと思うとともに、職員一同でご支援する所存です。



報告 4

『自己啓発セミナーに参加して』

リハビリテーション科 作業療法士 北川 優奈

自己啓発セミナーへの参加は、自分自身にとって新しい発見や今までの考え方について一考できる経験の連続であった。

セミナー内容の1つとして、数人のグループの中で劇を作成する課題があり、様々な職種、年齢、性別の人が集まって話し合っていく中で、物事を考えていく上での視点の違いを感じることも自分には無かった考え方を知ることができた。私のグループでは、劇を作成するテーマとして“患者様にとっての素敵な病院”について考え、もし自分が病院に行く立場なら…自分の家族が病院にかかるなら…など自分たちの立場をあらゆる角度からイメージ話し合うことで有意義な時間を過ごすことができたと感じている。また、他のグループの発表を通じて、“職員にとって働きやすい病院”という側面についても考えることができ、人と人の連携や自分の意見や技術を発揮できる職場にしていくことが大切であると改めて感じ、働きやすい職場であることが廻りまわって患者様に還元されていくの

ではないかと考えた。

セミナーの活動の場がヴォーリズ建築であるウォーターハウスであったこともあり、温かみのある日が差し込み柔らかい雰囲気の中で活動できたことが、初対面の人とも打ち解けやすく考え方を柔軟にすることに繋がったように感じた。

自己啓発セミナーへの参加を通して、より良い病院とは何かを考えることや他職種との関わりを深めることができ、さらに自己課題を発見することができた。自分自身では、グループ課題の中でも場面を想像しながら考えていくことの乏しさを痛感した。想像力は、今後働いていく中でリスク管理面や患者様の退院後を考えていく上でとても大切になる力であると感じているため、今後自己課題を意識しながら働いていきたいと思う。これから自分が主体となって働いていく中で、自己啓発セミナーにて学んだことを十分に生かしていきたい。

~~~~~

## 看護部 一病棟 島田 健一郎

桜の花が咲き始め、春の草花が芽吹き始めるのを見ながら、この自然豊かなヴォーリズ記念病院に入職できました事をとても嬉しく感じております。ヴォーリズ記念病院をはじめ、ヴォーリズの里の各施設に今期入社された皆さんと共に入社の日を喜びをもって迎える事ができました。新人の入社に向けて様々なご準備いただきました諸先輩の皆様にご心より感謝いたします。

さて去る4月4日、自己啓発セミナーを受講させていただきました。

複数のチームに分かれ、自分達の考える理想の病院とは何かをメンバーで考え、その内容について、演劇の形で発表させていただきました。

私のチームは、経験年数、職種、年齢、性別が違うメンバーが集まっていました。なので、どのような劇のストーリーにするかを話合う時も、新人はどういう事に悩むか、ベテランになってくるとこんな事が難しいと感じる、とか様々な視点から意見がでました。ま

た、そういった様々な意見が一つのテーマやストーリーの中に集約していく過程をチーム全体で体験する事ができました。

その過程の中、メンバー同志がニックネームで呼び合ったり、今日知り合ったと思えないくらい親しく、楽しく、時を過ごす事ができました。

看護学生の時、多職種連携の“必要性”や“重要性”を学びました。その時は、本や実習で観察させていただく中に「多職種連携」という言葉があっただけで、経験をした事はありませんでした。

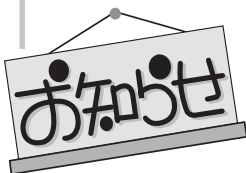
今回のセミナーを通して多職種連携の一端を経験させていただけたように感じました。その中で、多職種で連携し、一つの目的を分かち合う事は、ケアの“楽しさ”や“喜び”を感じながら働くうえでも大切な事なのではないかなと学ばせていただきました。

これから実際の職場の中で、先輩の皆様方には学ばせていただく事ばかりになると思います。皆様これからよろしく願いいたします。

## 報告 5 第248回 ミュージックタイム

さる2017年3月25日、「第248回 ミュージックタイム」を3病棟で開催いたしました。今回は「におの会」の皆さんによるコカリナの演奏でした。柔らかい心暖まる音色に寒さまだ残る中であって春の到来を感じさせる一時でした。



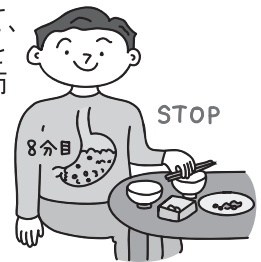


## ▶ 糖尿病及び生活習慣病教室のお知らせ

シリーズで月に一度、木曜日に糖尿病、生活習慣病に関して、実際の食事をご用意し、病気の知識や治療法についての教室を開きます。詳しくは管理栄養士か外来看護師あるいは担当医師にお尋ねください。

日時 5月25日(木) 12:00~13:30 場所 新館研修室(病院内)  
講師 看護師

主治医の指示のもとに参加できますが、あらかじめお申し込みが必要です。



### 働く仲間を募集しています!

★看護師・訪問看護師・介護福祉士

“ケアの喜びを一緒に  
感じませんか。”



詳細はお問い合わせ下さい。TEL 0748-32-5211(担当:澤谷)

## 近江八幡市介護予防拠点事業

ヴォーリス介護予防教室のご案内(平成29年度)

開催日程表

| 回 | 日程                       | 内容                     | 担当・講師                                    |
|---|--------------------------|------------------------|------------------------------------------|
| 1 | 5月25日(木)<br>14:00~16:00  | 「ひとり暮らしの<br>食生活を考える」   | ヴォーリス記念病院<br>管理栄養士 徳岡 貴美 氏               |
| 2 | 7月27日(木)<br>14:00~16:00  | 「おりがみ教室<br>PART XⅢ」    | ヴォーリス老健センター<br>施設長 鈴木 輝康 氏               |
| 3 | 9月28日(木)<br>14:00~16:00  | 「訪問診療の実際」              | ヴォーリス記念病院<br>医師 ミツ浪 健一 氏<br>(公益財団法人 理事長) |
| 4 | 11月16日(木)<br>14:00~16:00 | 「あたまの体操」               | ヴォーリス老健センター<br>作業療法士<br>野澤 幸江 氏          |
| 5 | 2月22日(木)<br>14:00~16:00  | 「ひとり暮らしでも<br>最期まで我が家で」 | 訪問看護ステーションヴォーリス<br>在宅看護専門看護師<br>田村 恵 氏   |

- ①対象者 おおむね65歳以上の方 定員: 30名
- ②場所 アンドリュース記念館(旧YMCA会館)  
近江八幡市為心町中31番地(近江八幡教会の隣)
- ③参加費 無料
- ④申し込み 1回目5月23日(火)までに往復ハガキで  
①住所 ②氏名 ③年齢 ④連絡先電話を  
記入の上、下記の係りまでお申し込み下さい。

〒523-0806 近江八幡市北之庄町492  
ヴォーリス記念病院内 介護予防教室係 まで  
お問い合わせは、ヴォーリス記念病院内  
ホームヘルパーステーション  
担当 生駒・田井中治美  
(Tel 32-7130 Fax 36-5458) まで

## 患者支援センター

介護・入院・施設の入所等で、お困りのことが  
ありましたら、ご連絡下さい。

TEL (0748)32-5211 (代)  
FAX (0748)36-5412 (直)  
E-mail info@vories.or.jp (代)

※センターは正面玄関入って左側にご覧下さい。



## お知らせ

### メディカルフィットネスセンターヴォーリス 会員募集中

あなたの健康づくりをサポート

元気な方は体づくり 病後の方は体力回復  
沢山の方がご利用されています。



#### 営業日と時間

|        | 月   | 火   | 水   | 木   | 金   | 土   | 日   |                                                 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------------------------------------------------|
| 9:30~  | デイ  | 市委託 | ○   | デイ  | 市委託 | --- | --- | 利用料金<br>入会金 3,750円                              |
| 12:00  |     |     |     |     |     |     |     |                                                 |
| 13:30~ | ○   | ○   | デイ  | ○   | ○   | --- | --- | 月会費<br>週3回以上 8,208円<br>週2回 5,400円<br>週1回 3,024円 |
| 17:00  |     |     |     |     |     |     |     |                                                 |
| 17:30~ | --- | ○   | --- | --- | ○   | --- | --- |                                                 |
| 20:00  |     |     |     |     |     |     |     |                                                 |

\*デイ=介護保険サービス 市委託=市から受けている委託事業 ○=会員制による実費サービス

#### 休館日

土・日・祝・年末年始など または当センターが特別に定めた日

〒523-0806 近江八幡市北ノ庄町492 ヴォーリス老健センター1階  
電話 0748-32-5540 ファックス 0748-32-5541

#### 健康生活について「出前講座」のご案内 ～ ヴォーリス記念病院 ～

ヴォーリス記念病院では、「地域の皆さまの健康生活に貢献できる病院」の一環として、地域に向いて『出前講座』を開催しています。  
皆さまが知りたい、聞きたいと思われる内容について、当院職員が講師として伺います。ぜひご利用下さい。

- ◆対象: 近江八幡市内の地域住民による団体・グループ、学校など  
※企業、医療機関及び介護保険施設等の職場研修は実施しておりません。
- ◆費用: 無料です。
- ◆開催日時: 日、祝日を除く、9時から17時まで。
- ◆申し込み方法: 電話により希望日の2か月前までにご相談下さい。  
開催が決定したら、正式に申込書をご提出頂きます。  
業務の都合によりご希望の日時、講座に添えない場合もあります。予めご了承下さい。



お申込・お問い合わせはこちら >>> TEL: 0748-32-5211(代表)  
FAX: 0748-32-2152

◎ホームページでもご覧いただけます。 <http://www.vories.or.jp/>  
公益財団法人近江兄弟社 ヴォーリス記念病院 経営企画室まで